

東京都立武蔵高等学校
同窓会事務所
〒180-0022
武蔵野市境1-3-4
エーブル武蔵境203
Tel & Fax 0422-27-7571



56

2021.5.20



江戸時代にうまれた歌舞伎は、
日本人のだいすきな物語と、うつくしいたのしさをもとめて、
かぎりない工夫をつみかねてきた。
そしていまもなお、あたらしいおどろきと感動で
お客さんをたのしませつづけている。

ぼくはね、これまでしばいごやにひびいた
たくさんのおさやくさんの拍手や歓声で、できるの。
之間小屋にあいにきて！
ぼくはきっと、ずっとここにいるよ。

絵本作家 庄司三智子さん(27回C組)の作品 絵本『かぶきわらし』シリーズ(出版ワークス刊)より
歌舞伎のケレンも絵本の仕掛けで楽しめる。

2020年度版小学5年『国語』教科書(光村図書出版)巻末付録「この本、読もう」に掲載。

2021年度同窓会総会＆アトラクションの開催と ライブ配信のお知らせ

日 時：2021年6月6日(日)
総 会：13時00分より
アトラクション：小田部 羊一さん(アニメーター)講演
「仕事…そして人生を語る」
※今年の総会およびアトラクションは「ライブ配信」も
視聴できます
会 場：武蔵野スイング11階 レインボーサロン
(懇親会・ホームカミングデイは中止いたします)

令和2年度卒業(73回生) 新幹事

A組
B組
C組
D組
E組

『ポツンと一軒家』という番組を見て、 コロナ時代の武蔵卒業生の行く道を考える

東京都立武蔵高等学校同窓会 会長 土屋正忠



母校都立武蔵高校は、昨年80周年を迎えました。創立当時のエリート高等女学校から戦後の学制改革で男女共学の普通校となりました。その後、学校群制度や東京都の都立高校改革を経て、中高一貫校を選択、今日を迎えています。80年の長い歴史の中で荒波にもまれながら、自由と規律、自主自立という校風は不变であると思います。

今日、100年に一度のコロナ禍が世界を覆っています。科学技術の極大化で通信と交通手段が発達し、私たちは自由にどこでも行けて交流することが出来るようになりましたが、交流の象徴である東京オリンピック・パラリンピック2020は海外からのお客さんを制限する特別な大会となりそうです。コロナ禍は、右肩上がりで量的拡大を求めてきた私たち人類の生き方に警鐘を鳴らしているのかも知れません。

『ポツンと一軒家』というテレビの人気番組があります。衛星写真で探した山中の一軒家を探して訪ねるという番組です。共通していることは、自然に恵まれた山中で米や野菜を作り、薪をエネルギー源としたりして自給自足に近い生活をしている家族が描かれていることです。まさにコロナとは無縁の自活です。私達総ての人間がポツンと一軒家の生き方を出来るわけではありません!報道された人々は様々な人生の積み重ねがあって、結果としてそのような自由と自活度の高い生活を送っているのですが、同時にどんな人生でも、各々の生き方に応じた自立・自尊の精神があってこそ存在が輝くと思います。

「武蔵」の校風は自由と規律、自主自立ですから、時代の変化の中で荒波にもまれても屈することなく誇り高く生きていくことを意味しています。

2万5000人の卒業生の皆さん、改めて母校の精神にかえり、コロナに打ち勝って、堂々と人間らしく前向きに生きて行こうではありませんか。

同窓会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。

2021年度 同窓会総会/アトラクション開催と ライブ配信のお知らせ

今年の同窓会総会は、2021年(令和3)6月6日(日)、武蔵野スイング・レインボーサロン(11階)で行います。新型コロナ感染拡大に伴い2020年度の同窓会総会は中止となりましたが、今年の同窓会総会は徹底した感染防止対策を講じたうえで開催し、懇親会およびホームカミングデイは中止することといたします。楽しみにしておられる皆さんには申し訳ありませんが、ご了解くださるようお願いいたします。

総会では、2020年度事業報告・決算報告、2021年度事業計画・予算案・役員改選が審議されます。

アトラクションは昨年予定させていただいた小田部羊一さん(7回生E組)に、あらためて講演をお願いいたしました。

また会場も、事前の予約により人数を制限し三密にならないよう行います。そして今回初めての試みとして総会およびアトラクションのライブ配信を行い、同窓会トップページにアクセスしていただければ世界中どこからでも実況を見ることができるよう設定しています。会場にお越しになる方は、同封の出席申込はがきで期日までにお申し込みください。

日 時:2021年(令和3)6月6日(日)

ライブ配信(予定):13時00分~15時00分

会場受付開始:12時00分

総 会:13時00分~

アトラクション:13時45分頃~(15時までに終了)

〈小田部羊一さん(アニメーター)「仕事…そして人生を語る」〉

場 所:武藏野スイング・レインボーサロン(11階) 武藏野市境2-14-1

視聴方法:武藏高校同窓会のトップページより視聴可能(YouTubeLiveで配信)

今年のアトラクション

〈講演〉「仕事…そして人生を語る」

～アニメーター小田部羊一さん(7回生E組)が語る～



一昨年 同窓会の方から講演の声がかかりましたが、新型コロナ感染拡大という大変な事態が全世界を覆い、同窓会総会そのものが中止になりました。

再度講演の機会を頂きましたが、生死を問われている今、何をお話すればいいのか迷います。長年、アニメーションの世界に生きて、「いのち」を表現することにつとめてきましたので、仕事を通して、アニメーションのことや、母校武藏でのお話をしようと思っています。よろしくお願ひいたします。

1955年東京芸術大学美術学部日本画科入学、前田青邨に師事。1959年東映動画(株)に入社、アニメーターとして出発、劇場長編映画「わんぱく王子の大蛇退治」、「長靴をはいた猫」などでアニメーション原画を担当。「空飛ぶゆうれい船」で初の作画監督。1971年高畑 勲・宮崎 駿とともに東映動画を辞し「パンダコパンダ」「アルプスの少女ハイジ」「母を訪ねて三千里」などでキャラクターデザインと作画監督を務める。

1979年「龍の子太郎」1981年「ジャリン子チエ」作画監督。1985年開発アドバイザーとして任天堂(株)に入社。「スーパーマリオブラザーズ」デザイン監修、「ポケットモンスター」のアニメーション監修。2019年NHK連続テレビ小説「なつぞら」アニメーション時代を考証。

伝統を引き継ぎ、次の10年へ

都立武蔵高等学校・附属中学校 統括校長 南 和男

東京都立武蔵高等学校は、昭和15年(1940)に東京府立第十三高等女学校として開校し、昭和25年より男女共学校となり、昨年、創立80年を迎えました。この間に、東京都では中高一貫教育校10校の設置を定め、その中で本校附属中学校は平成20年に開校し、今年度で13年目となります。令和3年度からは、中学校からだけの募集を行い、中学生がそのまま高等学校へ入学する形となり、新たな中高一貫教育校として第一歩を踏み出します。また、生徒たちが主体的に活動する部活動につきましては一時的に中学生が増え、高校生が減るという現状を踏まえて適切な設置をするよう検討を進めております。

本校では「国際社会で貢献できる知性豊かなリーダー」の育成を目指して、先輩方から受け継いだ「向上進取の精神」を原動力に日々教育活動を行っております。特に、本校独自の取組である「地球学」によって、「自分ごと」として地球規模の課題を考え、課題解決に向けて学び、行動していく生徒を育成しています。中でも、持続可能な未来を目指すための開発目標(SDGs)に着目し、中学1年から高校1年までの4年間を通して、調査、研究、討論、発表、論文作成などを行い、将来、国際社会で活躍できる人材の育成を目指しています。

また、新型コロナウィルス感染症対策につきましては、東京都教育委員会のガイドラインに基づいて、マスクや手洗いの励行のほか、手すりやドアノブの消毒、黙食にも努めています。しかしながら今年度は、新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、文化祭や体育祭、修学旅行、音楽祭、部活動の夏季合宿、マラソン大会、キャンパス訪問などを中止としました。それでも生徒たちを一回りも二回りも成長させる機会を作りたいという思いから、学年別の球技大会や地域巡検などをでき



高1生の新聞を活用した“SDGs”ワークショップ

る範囲で工夫して実施するとともに、3月には映画発表による文化祭、さらに密にならない競技を主体とした体育祭を生徒自身が企画し工夫して運営することとなりました。できないからあきらめるのではなく、制約がある中



中1生の玉川上水での地域巡検

でも何ができるかを考え行動していく武蔵の伝統は、このコロナ禍でも失われることなく、かえってより鮮やかになって

おります。合わせて、学習にもしっかりと取り組み、生徒たちは「自学自習」を大切にし、初めての大学共通テストでも果敢に挑み成果をあげており、例年以上の進路実現が図られることが期待できます。なお、今年は玄関に「武蔵合格だるま」を置きました。左頬には「向上進取」右頬には「目標必達」を入れ、受験生はもちろん、すべての生徒たちのそれぞれの目標が達成されることを願っております。



「目標必達」と「向上進取」の合格だるま

最後になりましたが、80周年記念式典は、土屋正忠同窓会長の多大なるご尽力を賜り、令和3年11月12日(金)に武

蔵野市民文化館大ホールで実施できることとなりました。当日は、「地球学」の発表や吹奏楽部・室内楽部・合唱部の合同演奏会などを予定しております。これまで同窓会の皆さまからは多大なるご支援とご援助をいただきております。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。今後とも、本校の教育活動にご理解をいただき、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。



午前8時すぎの武藏境駅 1969年



木造体育館での文化祭 1967年

手元の『むさし12』(創立30周年記念誌)を参照すると、1967年度学校群制度施行、翌年からは武藏境での二代目となる鉄筋コンクリート造校舎の建設が始まって、記念誌の表紙にも誇らしげにイラストを載せている。一方では大学紛争のあおりを受けての高校紛争の影響が武藏にも波及、1969年度の後半は全校で連日授業短縮、午後ホームルームを実施、教員・生徒双方で教育体制改革を話し合った。「問題が大きすぎて自校だけでは解決できないものもあったが、幾多の試行錯誤はあっても、当時としては、最善を尽くしたつもりである」(第七代校長 井上敬一氏)というが、当時の1年生にはそもそも何が問題なのか十分に理解できていかなかった。

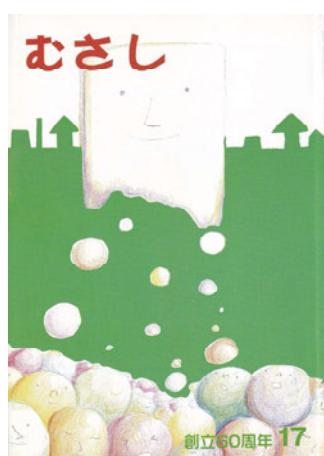
30周年、1970年前後は社会経済の勢いに押された一つの転換期であり、古き良き武藏を知る先生方からは校風の変化に戸惑う声もしばしば聞かれた。



ある日の授業風景 1988年



むさし祭 1993年



60周年記念誌『むさし17』冒頭のあいさつ文のなかに「我が武蔵高校がお色直しを始めようとしています。……時間が経って愛され愛した分、この校舎も疲れてきました」(平成十一年度生徒会長 阿部将吾氏)という一文がある。60周年にあたる2000年度もまた新校舎建設という節目を迎えていたのである。

1990年代後半の校舎は、同窓会報の封入・発送作業で教室等を毎年お借りしていた関係で同窓会としても親しみがあったが、やはり廊下の暗さや各所の劣化は気になつた。こののち2001年に新校舎竣工、外構工事やグランド整備を経て2003年に落成式典開催と記憶する。あれから早くも20年近く経過したが、現在の三代目校舎の建て替えはまだまだ先のことであろう。中高一貫の時代、それぞれの生徒が6年間在校するのだから愛着をもつて長く使ってもらいたいものである。(編集子)

お元気ですか 会員・教員の消息

都立武蔵高校卒業のみなさまへ 徳田 親信

都立武蔵高校卒業の皆様、教職員として勤務なさっていた皆様お元気でしょうか。私は、1996年から7年間、保健体育科・サッカー部の顧問として勤務していた徳田親信と申します。昨年の4月から都立片倉高校から都立戸山高校に異動し、武蔵高校以来の進学校で、戸惑いながらも1年生の担任をしてい



昨年ホームカミングデーのはずだった52回生B組(前列右端が徳田先生)

ます。コロナの影響で十分な教育活動が出来ずに、本当に何も無い1年間だったと感じています。

それに引きかえ2000年卒業52回B組の皆さんとは、本当に濃い3年間を過ごしたと思います。

遠足・体育祭・文化祭・合唱祭・移動教室、部活動では、3年時の選手権大会での東京都ベスト8など、活動の中で人間的に成長していったと思います。20年が過ぎ去り、同窓会を計画して頂き卒業生の皆さんとお会いできることを楽しみにしていましたが、実現できずに非常に残念です。

今、皆さんは社会の中心で活動していらっしゃると思いますが、これからは二酸化炭素を出さずにエネルギーを作り、効率よく使い、自然環境を保全し、お互いのことを理解し、認め合っていく社会に変わっていくと思います。その中で得意分野を生かし、社会の変化を推し進めていってください。そして、幸せで豊かな生活をしてください。どんなにテクノロジーが進んでも最後は人間力がものをいうと思うので、そこを鍛えてください。最後に医療関係で働いていらっしゃる方々に感謝の気持ちを伝えます。ありがとうございます。

里山ジイジさんからお便りと著書 17回C組 宮内 海司さん

このほど広島県在住のペンネーム「里山ジイジ」と宮内海司さんから、「コロナ見舞い」のお便りとご著書が届きました。

ジイジは74歳。武蔵高校で主に柔道と落語を学んだあと浪人や留年するなど苦学して学芸大学を卒業。その後は海外へ飛躍、当時の西ドイツへ渡って15年間におよぶワーキングホリデーを過ごしたという。期間の半分は働き、またその半分は欧洲放浪、それでも5年ほどはマインツ大学大学院というところで比較文化論等々を学ぶことができた。そして40歳で帰国後は、山口県岩国の短大で教職に就き、20年後までたく還暦を迎える。

ここからがジイジの本領発揮である。島根県の山林4反を買い求め、山小屋を建て、広島の自宅から週末ごと



(お便りの全文と本の紹介は同窓会ホームページで読めます)

ホームカミングデイ企画 お便りコーナー

残念ながらコロナ禍のため2年続けてホームカミングデイは中止のやむなきに至りましたが、昨年開催予定だった32回、52回生、今年の開催予定だった33回、53回生の各学年・クラスの幹事さんを通じて、有志の方々の楽しいお便りが届きました。以下、ホームページと会報に同時掲載いたします。

昭和55年卒 32回生

平井明樹夫(32C)「一昨年8月から昨年6月にかけてデンマーク留学を果たし、本場のデモクラシーに触れ、老後の尊厳ある生活について大きなヒントを得ることができました。」

竹中美佐子(32C)「32回生は、2013年から計3回も合同クラス会が開催される程の学年で、幹事の皆様には感謝しかありません。本当にこの学年で良かった。今回は残念ですが、また会える日が来る事を願っています。」

藤本典子(32I)「ヨガを10年、その後ピラティスを12年続けています。意識していなかった筋肉が目覚めていく感覚が楽しく、また、この歳まで正しい身体の使い方を知らなかつた事に驚きつつ。皆さんお元気で、またお会いしましょう!」

平成12年卒 52回生

森田宏(52A)「武蔵卒業後、機械工学を学び、幼少期から夢だった自動車メーカーに就職、HV・EV車の設計をしております。遠く愛知の地で、愉快な職場仲間、友人、やんちゃな男の子二人にも恵まれ、日々幸せに生活しております。」

清水良高(52B)「周りに支えられ、なんとか社会人を続けています。あの頃思い描いていた理想の自分からは程遠く、四十にしてなお惑い続ける日々。それでも、3歳の息子の笑顔には日々癒されます。コロナ禍でも皆様どうかお元気で。」

嘉齋信行(52C)「25年ぶりにK君と会いました。すごく老けたなと言われましたが、なんとか分かるようなので、もし見かけたら声をかけてみてください。今は家族4人で楽しく暮らしています。」

柳沢美子(52D)「数年前から連休を使い四国巡礼の旅にでかけています。歩きながら自然や人にふれ、巡礼の文化に魅了され続けてようやく全体の1/4。今は思うように進みませんが、20年後には結願できる様、歩き続けます。」

我部(吉岡)有理(52D)「高校時代は思い出しては顔を赤らめることばかりですが、今、高校生になった我が子たちを見て、幼かったなりに頑張ったなと肩をたたいてあげたい気持ちになります。今は九州で自然と温泉に囲まれてすっかり田舎者になりました。」

坂井(橋本)恵子(52G)「大動物臨床獣医師として島根県にIターンしました。その後、結婚、男の子を授かりました。主人は新規就農の酪農家、私は相変わらず臨床獣医師、子供はゲームに夢中。三者三様で仲良く?元気に暮らしています。」

渡辺雅代(52G)「高1の時に目指すと決めた薬剤師になり、精神科病院で長年勤務を続けています。子育ても一段落するので、自分のための時間を少しずつ楽しむたいと思っています。」

緒方美穂子(52F)「システム会社で証券会社向けシステムの要件定義等をしています。武蔵での3年間は伸び伸びし過ぎた感がありますが前向きにチャレンジしてみる楽しさを知り、生き方の土台を築いた貴重な学生時代だったと感じます。」

昭和56年卒 33回生

近藤(濱野)敦子(33D)「私は、一級建築士として仕事をしています。武蔵で学び、先生方や友人達との出会いで、本当にやりたいことを見出し、勉強や仕事が大変な時にも頑張れる力を戴きました。『武蔵』に、心から感謝しています。」

石川三枝子(33D)「在学中は女子バレーボール部でした。卒業後も人生の節目には顧問の石川和昭先生、副顧問の養護の古谷昭代先生に支えていただきました。男バレ女バレ合同のOBチーム武蔵クラブを立ち上げ現在も毎年正月に交流を続けています。」

上甲覚(33D)「時は昭和後期、なんとなくの高校時代。持続可能な学業と帰宅部の両立。時は今…雨雪かぜ強まる令和初期、色々渦巻く波乱の時代。医師の仕事と帰宅部の両立。高校生で身につけた文化資本は役に立つ…かな。」

ホームカミングデイ企画 お便りコーナー

是枝裕和(33F)「お正月明けから韓国に来ています。4月からこちらで撮影する新作の映画の準備です。コロナの影響で行き来がままならず6月までずっと日本には帰らず、なりそうです。でもご飯が美味しい日本食が恋しくなることもなく快適な一人暮らしです。公開は来年になりますが、是非またその時にご報告させてください。」

大山謙司(33D)「音楽祭、文化祭、体育祭と部活以外もイベントでいつも各クラスが燃えていました。自由な校風はこうして培われていくのですね。このDNAが永続し益々のご発展を祈念します。」

高木健(33G)「長く建築設計に携わり今は国際設計部に所属。国内最後のPJであろう某競技場は政治に翻弄され残念であるが、建築物は人・街・環境と調和することで価値がある。引退後は自分の作品のその後を探訪できたらと思う。」

風間宏夫(33G)「大学を卒業後32年間開発業務に従事したメーカーを定年前に退職し、100歳人生に向けた今後の人生を考える毎日を送っています。

起業か海外移住か…悩みつつ、趣味のスマホアプリ開発に没頭しております。」

羽鳥裕子(33G)「コロナ禍の中、皆さまお元気でしょうか。私はリモート不可な部署で勤務しておりますので、日々万全の予防をしながら電車通勤しております。何とか無事に元気であります。一日も早く皆さまとお目にかかる日が来ることを願っております。」

梶原(中村)敏子(33G)「逝ってしまった大切な人達のことを最近よく思い出す。『うめこはそのままでいいから』って、どんな私よ? 口下手なG組の班ノートには18歳のみんながいる。私も。そのままであっても、なくても、どうか無事で!」

村瀬雄一(33H)「5年前の暮れに武蔵境で同じクラスの数名と飲み、その勢いで学校まで行きました。通学路も校舎も、35年経って変わっている中、ところどころ変わらない所を見つけに行くのはおすすめです。」

宮田直彦(33I)「2019年、念願のエジプト再訪を果たしました。就職した証券会社の留学生として2年間をカイロで過ごして以来、28年ぶりとなる『ホーム・カミング』に感無量でした。昨年11月には人生初の転職に踏み切りました。新しい環境にも慣れて、今は(年甲斐もなく)ワクワクしながら毎日を過ごしています。」

平成13年卒 53回生

ウイリアムズ(山城)彩子(53A)「現在、オーストラリアのシドニーで夫と2歳の娘と3人で暮らしています。仕事は旅行会社のWebサイト運営をしていますが、今は厳しい状況です。家族の時間が増えたことが幸いです。いつか同窓会に参加したいです!」

加藤(吉村)舞(53B)「愛知県で男児育てしながら夫婦でサーフィン楽しんでます。度々東京に帰ってます。車のデザインが仕事。箱型タクシーや東京モーターショーとか。1年生アトラクパートナーの佐藤くんとまさかの同じ会社!」

福間洸太朗(53D)「ベルリンを拠点に演奏活動していましたが、コロナの影響で今は日本をベースに演奏のほか、レッスン、講座をしたり、配信演奏会のプロデュースなども始めました。今後も一期一会を大切にピアノを奏でたいと思います。」

村中麻里子(53G)「こんにちは。武蔵卒業から20年。今いるラスベガスや世界ツアード、それぞれの高校時代の話をする度に、大事な時を個性ある皆と武蔵で自由に楽しく過ごしてたなあと痛感します。あの時はありがとうございました!」(チェリストMariko)

竹内(泉)未知佳(53G)「学生生活を終えゲーム関係の会社で働いた後、約5年かけて世界57カ国を放浪。武蔵で学んだ多様な考え方をさらに広げることとなりました。今はまたゲーム会社に勤めており、元気に楽しく生きております。」

高野晋也(53H)「去年からラジオ番組のMCに就任したり、ホラーコンテンツの企画をやったり、Twitterがバズりまくって日本歴代27位になつたりと、謎の人生になってきております。自分でも何をしているかわかりませんが元気です。」(音楽ユニットFrasco(フラスコ)のタカノシンヤとして、曲、企画を担当。自身の作品リリース以外にもCM音楽やイベントのBGM制作、渡辺直美に作詞提供したり、多くの楽曲提供を行う。現在J-WAVEのラジオ番組『TOKYO M.A.A.D SPIN』の水曜日ナビゲーター担当)。

佐々木(内野)裕子(53H)「皆様お元気ですか? 何事も熱く全力で過ごした武蔵高校を卒業して20年。今現在私は未就園児から小学生の4人の娘を育てています。もっと落ち着いたレディになっている予定でしたが、まだ熱く全力で青春しています。」

昨日・今日一 近頃の私…

28回B組(昭和51年卒) 多羅尾 光睦

都庁に勤めて40年

先ずはお詫びから。教師になりたくて、武蔵高校で教育実習を受けました。しかし、教員採用試験は全滅。東京都庁に昭和55年に就職しました。熱心に指導していただいた先生方、下手な授業を我慢して聞いてくださった生徒の皆様、申し訳ありません。

というわけで「何となく公務員」でしたので、新入職員時代は、仕事に身が入ったとは言い難いかと思います。20歳代後半、清掃局に異動になりました。ゴミの仕事ということで正直憂鬱でした。しかし、ゴミの現場にも立ち、大都市にとって、大量の廃棄物を迅速かつ衛生的に処理することが、いかに大切な事が分かり、やっと仕事にエンジンがかかりました。

都庁は、いわば「総合生活産業」のようなものです。半世紀先を見据えた東京の都市建設から、毎日の都民の皆様の生活の隅々まで、本当に様々な仕事をしています。一人の都職員が、一生に関わる仕事は、都庁の仕事のごく一部ですが、それでも、私もいろいろな仕事に携わることが出来ました。

都立病院や都立大学では、お医者さん、看護師さん、大学の先生などと一緒に働きました。病院では、患者さんからの苦情対応の連続でしたが、命と健康を守ることの大切さが身に沁みました。青少年健全育成では、警察の少年係のお巡りさんと夜の繁華街を廻りました。ソフトな対応を心がけたら、客引きと間違えられました。東京港の仕事では、物流事業者の方などと欧米に出張し、海運会社に営業活動し、改めて都庁の仕事のすそ野の広さを感じました。内部管理では、人事や行政改革に多く携わりました。自分も評価される立場もありますが、人事に100%の正解はなく、今でも苦します。

3年前に副知事を拝命しました。この間も多くのことがありました。2019年秋の台風直撃や、東京五輪マラソンの札幌移転も大変でしたが、やはりこの一年余は、コロナ対策で明け暮れました。危機管理は都庁の基本的使命とは言うものの、ウイルスはなかなか手強い相手



東京オリンピック・パラリンピック担当です

です。防災、福祉保健、産業労働はじめ都庁各局が連携し、24時間取り組んでいます。一日も早い収束に努めたいと思います。

職場としての都庁の良いところは、自由な雰囲気にあると思っています。もちろん達成すべき目標はきちんとありますが、必ずしも仕事に精緻なマニュアルではなく、担当者が創意工夫を凝らしながら仕事が出来ます。私がいつの間にか、都庁に40年も勤め続けられたのも、その自由な雰囲気が、肌にあったのかもしれません。そして、私の内にある、自由に憧れる気持ちは、武蔵高校で培われたような気がします。生徒の自主性を重んじる校風は、たいへん懐かしく、有難く、感謝の気持ちです。

なお、都政関係では、土屋同窓会会长は、元武蔵野市長。また、東京都議会の石川議長も、東京都市長会会长の清水立川市長も、武蔵高校の先輩で、心強いところです。



東京都・新宿区・医師会とのコロナ対策の呼びかけ

同窓生広告のページ

協賛ありがとうございます



童子
辻 桃子
主宰
(十五回生)

俳句をはじめて
みませんか

——からご指導いたします——

くにたち総合会計事務所

相続・贈与・譲渡などご相談ください

(初回は相談料無料)

税理士・相続診断士

所長 竹本 節子 (旧姓 萩原 21回生)

国立市中1-9-44 野木ビル2F(国立駅徒歩2分)

(TEL)042-505-8074 (Mobile)090-8563-2665

しのはら歯科医院
歯周病・口腔外科・入れ歯・矯正・根の治療
インプラントの専門医 最適な治療をご提案
院長 篠原俊雄 (19回生)
☎ 042-746-2200
〒252-0313 相模原市南区松が枝町9-16
小田急相模原駅 徒歩5分 駐車場17台完備
<https://www.shinoharashika.com/>

人と企業の
パートナー

社会保険労務士法人
木村事務所
代 表 社 員 木村辰幸 (S58.3卒)
特定社会保険労務士
認証番号: 1601489

不動産に関するお悩み、何でもお気軽にご相談下さい！

不動産の売買、土地・空き家の有効活用、不動産投資、相続対策、その他。銀行系デベロッパー～外資系投資会社にて 22 年勤務後、個人のお客様へプロのサービスをご提供すべく独立。不動産業界歴 29 年。

(株)東京リアルエステート・サービス
代表取締役 中村昭彦(40回生、ラグビー部OB)
東京都目黒区五本木 1-3-16
TEL: 03-6677-4322 FAX: 03-6733-8432
E-mail: info@tokyo-re-services.com

相続・遺産整理・遺言

不動産・会社登記申請手続

成年後見申立・後見人業務

司法書士法人リーガルネットワークス

司法書士 大屋まゆ

(バスケットボール部・ラグビー部所属 40回生)

東京都千代田区一ツ橋 2-6-11 KINSEI ビル 4 階

TEL: 03-3556-6328 E-mail: oyamayu@nifty.com

広告募集中

毎年5月 17,000部発行

会社や事業のアピールはもちろん、異業種交流、仲間づくりのキッカケに!

掲載料その他お問い合わせは、同窓会事務局まで。

TEL/FAX 0422-27-7571

武藏の山小屋…… 大菩薩ヒュッテ



『大菩薩ヒュッテ』は、同窓生ならどなたでも利用できる施設です。

～今年度 宿泊体験大キャンペーン 実施。ぜひご利用を！～

今年度は以下の大キャンペーンをうちます。これを機にぜひ一度ヒュッテをご利用ください！（ほぼ貸し切り状態で利用できますので、理想的な三密回避の山小屋といえるかもしれません（フェイスガードや除菌用アルコール等も常備）。



①若手同窓生（2018年卒：70回生以降）初回利用料無料！

高校時代の仲間や今のお友だちとヒュッテで集まろう！薪がパチパチ弾ける音を聞きながら今を昔を語り合うのは最高ですよ！小屋の窓から立派な富士山を眺めることもできます！！

②お子様（小学生以下）の利用料無料！（何度でも！）

お父様お母様！お子様の百名山デビュー／山小屋デビューはぜひヒュッテを使って！不特定多数のお客様がいないので、元気いっぱいのお子様がはしゃいでも全く問題ありません!!親子の山登りサークルも主宰する者が疑問点・不安なことなどにもお答えしますので、ちょっとでも興味を持ってくださった方はぜひお問い合わせください。

③クラブ同窓会の団体利用、初回利用料金全額無料！（2回目以降も優遇します）

クラブOB、OGの皆様！団体利用時の利用料を（今年度初回）全額無料とします！「たまには集まってどこか行こうよ」の候補地としてぜひ検討を！これまで、天文部／生物部／バスケ部／水泳部…など山岳部以外のクラブでもヒュッテを利用いただいているます。



④“ヒュッテ利用体験会”を実施します！

幼児～小学生のお子様がいるご家族の方を想定した“利用体験会”を計画中です。山登りはもちろん、天体観測／昆虫採集／温泉立ち寄りなどなど、ヒュッテをベースにした楽しみ方を提案する場です。開催日や内容などの詳細はホームページに順次アップしますのでお見逃しなく！（他にもやってみたいことがあったら「お問い合わせ」フォームからご相談ください！）

山岳部同窓会会長代行 40D 塩塚 義雄

詳細は「大菩薩ヒュッテホームページ」をご覧ください。

ご利用について

利用期間：5月連休～11月第1週、原則土・日、または日帰り

利用時間：土曜日 15:00～、日曜日 12:00まで

利用料金：一人一泊 ¥1,000（おもに暖房・プロパン等燃料代）



申し込み・問い合わせは山岳部同窓会事務局まで

大槻 正明 TEL:042-381-1855

ヒュッテURL：<http://musashi-hutte.com/>

☆メールでの申し込み・問い合わせは、件名に「ヒュッテ」と書いてください。

ヒュッテの運営費・経費は同窓会・PTA・利用料・カンパ・山岳部同窓会により賄われています

表紙によせて

作者紹介 庄司 三智子さん（旧姓 岩崎：27回C組）



小学生からハマってしまった歌舞伎を「あれ、おもしろそうだよね」と初めて言ってくれたのは武蔵のクラスメート。古典の石澤先生に顧問をお願いして数人で歌舞伎の研究サークルを立ち上げ、武蔵祭で発表はじめました。高校生のそんな活動に国立劇場の懐広いご協力をいただくご縁も得る楽しい日々でした。精一杯の私たちに、大人の人たちは応援してくれる味方だと思ったのも覚えています。幸せな環境だったと。「かぶきわらし」は当時黙々と模写した資料室の道具帳、取材した役者さん、楽屋や稽古場の延長線上にできた絵本です。

略歴

武蔵野美術大学卒、絵本作家、イラストレーター、
東京工芸大学非常勤講師

おもな作品

『かぶきわらしの義経千本桜』(出版ワークス)、『しろもちくんとまめもちくん』(アリス館)、『たいこうちたろう』(校成出版社)、『すきなものなあに』『せっしゃにんじゅ』(以上チャイルド本社)、『おやおやおやつ』『めんのめんめん』(以上岩崎書店)



令和3年度 武蔵高等学校・附属中学校 異動者名簿

卒業生総数 26,218名 住所不明・物故者 10,370名